

A002	遺産情報演習 (b)～世界遺産醍醐寺プロジェクト活動をパブリック化する試み～		
英名科目名			
大学名	京都橘大学		
連絡先	学務第1課 TEL:075-574-4324 FAX:075-574-4134		
担当教員	小林 裕子 (文学部歴史遺産学科准教授)		
開講期間	2018年04月07日(土)～2019年02月02日(土) 3～5講時 13時00分～17時50分(土曜日・日曜日) おもに土曜日または日曜日に実施。講義スケジュールにあげた日程以外の講義予定については、ガイダンス時に発表する。		
開講形態	通年	開講曜日・講時	
単位数	2	履修年次	2回生以上
会場	キャンパスプラザ京都、他		
授業定員			
単位互換生定員	7	京カレッジ生定員	0
試験・評価方法	授業中課題(40%)、授業中発表等(30%)、参加度(30%)		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料			
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【受講時の行動規範】</p> <p>本科目については、世界遺産所有者のご協力のもと開講されており、受講にあたっては特に担当教員及び世界遺産所有者の指導にもとづき行動するとともに、実習先の世界遺産におけるルールを順守すること。</p> <p>また、原則として履修を許可された学生は最後まで受講すること。</p> <p>【京都世界遺産PBL科目内での重複受講】</p> <p>本科目については、京都世界遺産PBL科目として共通に行われる授業や発表会もあり、科目の性質上、科目群の中での重複受講は困難です。京都世界遺産PBL科目内での重複受講は原則、認められません。</p>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標	<p>【テーマ】</p> <p>世界遺産醍醐寺プロジェクト活動を歴史遺産研究の立場からパブリック化する。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <p>本科目によって、学生個々の様々な能力を養成し、予測困難な時代に活躍できる人材育成を目標とする。</p> <p>【授業の概要】</p> <p>世界遺産醍醐寺を通じて、PBL (Project Based Learning) すなわち課題発見・解決型学習により自ら課題を発見し、解決策を提案する。なお、授業計画にあげた日程以外の講義予定(おもに土or日)については、ガイダンス時に発表する。</p> <p>【準備学習】</p> <p>受講にあたっては、醍醐寺展図録や醍醐寺大観などによって各自基礎研究を進めておいてもらいたい。</p> <p>【履修上の注意点】</p> <p>学外の皆様にお世話になることが多い科目であるため、普段以上に節度ある行動で取り組んでもらいたい。</p>		
講義スケジュール			
第01回	ガイダンス及び醍醐寺見学(桜の咲いているうちに)		

第02回	インタビュートレーニング(於コンソーシアム京都 5月12日(土))
第03回	全体オリエンテーション(於コンソーシアム京都 5月20日(日))
第04回	課題発見、調査計画の立案のための事前調査(於 醍醐寺)
第05回	課題発見、調査計画の立案のための事前調査(於 醍醐寺)
第06回	課題発見、調査計画の立案のための事前調査(於 京都橘大学)
第07回	草案作成(於 京都橘大学)
第08回	調査研究(於 醍醐寺)
第09回	調査研究(於 醍醐寺)
第10回	調査研究(於 醍醐寺)
第11回	調査研究(於 醍醐寺)
第12回	プレゼンテーショントレーニング(於コンソーシアム京都 10月21日(日))
第13回	研究成果集約と分析(於 醍醐寺)
第14回	研究成果集約と分析(於 京都橘大学)
第15回	研究成果集約と分析(於 京都橘大学)
第16回	成果発表会(於コンソーシアム京都 12月9日(日))
教科書	
参考書	<p>1.醍醐寺大観1 西川新次, 山根有三監修 岩波書店 2001</p> <p>2.醍醐寺大観2</p> <p>3.醍醐寺大観3</p> <p>4.国宝醍醐寺のすべて:密教のほとけと聖教:醍醐寺文書聖教7万点国宝指定記念特別展 奈良国立博物館編 日本経済新聞社 2014</p>